

フランス語II A F2106(2)

- 4) 前置詞と定冠詞の縮約形、直説法半過去、複合過去
これまでの復習・フィードバック
- 5) 前置詞と定冠詞の縮約形、近接未来・近接過去
フランス語圏を知る「チュニジア」
- 6) 比較級、最上級、非人称表現
「生物と非生物の区別」フランス語圏を知る「タヒチ」
- 7) 中性代名詞、直接目的語と間接目的語
フランス語圏を知る「ラベル、ドビュッシーの音楽」
- 8) 現在分詞、ジェロンディフ
言語について知る「少数言語について」
- 9) これまでの復習、使役、言語について知る「科学の対象としての言語」
- 10) 関係代名詞、命令法、強調構文、言語について知る「消滅危機言語」
- 11) 受動態、言語について知る「言語ドキュメンテーションとは？」
- 12) 条件法、言語について知る「人口知能はどこまで可能か？」
- 13) 接続法、感情表現
- 14) これまでの復習
- 15) 試験
- 16) フィードバック

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

- (1) 平常点（出席、毎回コメントシートの提出）40%
- (2) 理解度チェック小テスト20%(小テストは2週間に1回程度、欠席による追試は実施しない)
- (3) 期末レポート40%（レポート内容は授業中に指示）

[教科書]

山出裕子『フランス語圏の社会と文化』（駿河台出版社）ISBN:978-4-411-01351-4
ほか、適宜授業中に取り扱う題材の補助資料を配付する。

[授業外学修（予習・復習）等]

＊授業で指示した箇所を事前に読んで単語を調べておくこと。（多くは指示しないので短い文章を確実に）
＊予習よりは復習を重視する。
＊配布資料はファイルに挟む等して、授業時に持参すること。
＊授業の終わりに、コメントシートの提出を求めるが、これは平常点であり、コメントの内容は成績に左右しない。
＊小テスト（成績に加点）は、2週間に1度行う。教科書に沿った文法項目の理解度テストである
＊期末試験・レポートは授業中に指示する。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]